

PEM036-P01

会場:コンベンションホール

時間: 5月25日17:15-18:45

ISESと宇宙天気情報サービス

Space Weather Information Service under ISES

亘 慎一^{1*}

Shinichi Watari^{1*}

¹情報通信研究機構

¹NICT

国際宇宙環境情報サービス (ISES) は、国際地球観測年 (IGY) に一つのルーツを持つ国際的な組織である。IGYの際には国際的な共同観測のための観測情報の交換などの役割を担っていた。1996年に現在の国際宇宙環境情報サービスという名称に改称した。国際太陽系観測年 (IHY) 以前は、オーストラリア、ベルギー、チェコ、カナダ、中国、ポーランド、インド、日本、ロシア、スウェーデン、アメリカ合衆国の11カ国がメンバーであったが、IHYを機に、ブラジルと南アフリカ共和国が新たなメンバーとして加わった。これまでは、南半球にはオーストラリアのシドニーにある地域警報センターしかなかったが、南アフリカとブラジルの参加により、3つの地域警報センターができたことになる。

ISESの地域警報センターは、センター間での情報交換に加え、その地域での宇宙環境情報配信の役割を担っている。宇宙天気は、人工衛星や電力網の障害の原因となることが知られており、我々の生活に関連している。このため、一般の人たちが宇宙科学への関心を持つよい入口になると考えられる。また、太陽画像やオーロラ画像など、現在の宇宙環境の状況をリアルタイムに近く伝えることにより、一般への宇宙科学への啓発となると考えられる。

キーワード:宇宙天気,国際宇宙環境サービス

Keywords: space weather, International Space Environment Service